

# お年玉プレゼント **ご当選** おめでとうございます!!

届きましたっ!  
「ドライブレコーダー」



「NOBUさん」様より

いつもヤフオクの貴店の出品を楽しみに拝見しております。なかなか落札できませんがいつも気になる良い商品ですね。また、この度はクイズの賞品をお送り頂きありがとうございました。大名さんからは、クリアホルダーやランチバッグなどの気の利いたグッズを送って頂き、それほど貢献できていないのに恐縮です。コムテックのカーナビはテレビでも宣伝している韓国メーカーの良い品物ですね。早速、軽の買い物カーの方に取り付けようと思います。顔は恥ずかしいので犬のイラストを貼って加工してあります。ありがとうございました。

ありがとうございます。いつも大変お世話になっております。NOBUさん様とは、かれこれ約10年のお付き合いになろうかと思えます。今後も、NOBUさん様にさらに喜んで頂けるような商品をご提供していきますので末永く宜しくお願い致します。

「ルンバが欲しいもの」様より

大和魂のお年玉プレゼントにて、スピーカーをいただきました。この度は、素敵なプレゼントをありがとうございました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします!

届きましたっ!  
「防水スピーカー」



ありがとうございます。喜んで頂けて嬉しいです!!こちらこそ今後ともよろしくお願い致します。

## 次号予告

つっ!ついにっ!!! 新型コロナウイルス感染症が、5類感染症の位置づけに変更となりました。ようやく楽しい旅行に行けるようになりますね。2020年8月よりお楽しみ旅行を中止していましたが、なんと、次号「大名珍道中～歴史探索～」を再開致します。今から楽しみで仕方がありません。しっかり歴史を学んでみたいと思います。どこに訪れたかは、次号のお・た・の・し・み。

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。

件名:ニュースレター返信と入力して送信して下さい。



最新情報は **ホームページ** <https://daimyou.com/>  
 広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール [sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp](mailto:sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp)  
 TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

# 届けますっ! 大和魂 2023年6月 Vol.54

## 经营理念

有限会社大名は「届けますっ!大和魂」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

梅雨ですね。皆様いかがお過ごしでしょうか? 島谷貴子です。私は、次女が中学生になり、毎朝お弁当作りに奮闘しています。食中毒の時期なので、食べものが腐らないように気をつけながら、そして出来るだけ、「手作りのおかず弁当」を意識して作っています。



## お弁当の歴史

出先などで食事をするようになったのは、5世紀ごろからだそうです。「干飯」という、お米を干した保存食をお湯や水に浸して戻して食べていました。現在の「弁当」の始まりは、織田信長が大勢の人へ食事を与えるのに、個々に配った簡単な食事の意味で、名づけたとされています。(配当を弁ずる)そして貴族が出かける際に持って行った堤重がお弁当の原型とされています。江戸時代には、一日三食の食生活が定着し、歌舞伎や能の芝居見物でも出されるようになります。幕の間に提供されたお弁当を「幕の内弁当」と呼び、現在も食べられています。明治時代に鉄道で発売された「駅弁」、昭和以降に長時間保温可能な「魔法瓶弁当」、大きな「ドカベン」、キャラクターに似せた「キャラ弁」、見た目を華やかにした「デコ弁」等、様々な種類のお弁当が出てきました。



貴方様が学生時代の時に嬉しかった・美味しかったお弁当のおかずは何でしたか? 私は卵焼きです。娘が毎日「今日も美味しかったあ〜今日は〇〇のおかずが良かったあ」と、感想を言ってくれるので嬉しくて、ついつい作りすぎちゃいます。「お弁当」を通して、私の大きな愛を感じて欲しいなあと思います。そしてもう一人・・・血圧高めな大切な仲間へも塩分控えめに作っています。血圧が正常に戻ってくれたらと願い、作っています。  
\*二人に喜んでもらい、とても幸せです。

次女

いつもありがとうございます!



今日のお品書き  
 肉じゃが  
 卵焼き  
 えのきと竹輪のお浸し  
 ほうれん草とツナのマヨネーズ和え  
 大根と椎茸の胡麻和え  
 ミートボール  
 美人玄米

お弁当が楽しんでるんだよね〜

お客様の喜びの声、もっとこうして欲しい等、どんな意見でも構いませんので御連絡お待ちしております。

てんべろ ☆(・ω・)



こんにちは。中堀明美です。今号では短甲・挂甲から改良された胴について語らせて頂きます。



胴の変遷

弥生・古墳時代  
短甲 挂甲

今号はこちら

平安～室町時代

大鎧・胴丸・腹当・腹巻

戦国時代～

当世具足の胴

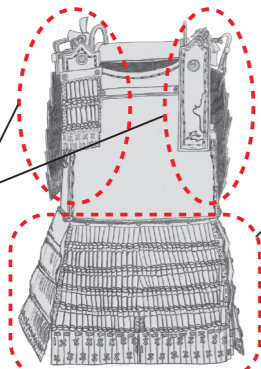
～胴の時代の流れ～

大鎧

平安時代から鎌倉時代にかけて1対1で向き合った騎馬武者がお互いに名乗り合って弓を引き、すれ違いざまに矢で射るといった騎射戦が主流でした。この戦いが盛んに行なわれたことで、それまでの短甲や挂甲とは違った形が要求されるようになりました。当時、鉄は貴重な材料でとても高価なものでした。その為、資金がない下級武者は着用することが出来ず、大鎧は**上級武者**が装着していました。

柄杓板/鳩尾板

両脇は隙間があるので、敵に矢を射込まれやすい箇所です。これを防御する柄杓板と鳩尾板を肩から釣り下げ防具としました。



四間草摺

騎馬の際、鞍にまたがった時に太ももを四方の箱のように囲んだ形になり防御の上で非常に合理的な形をしています。

弓を引く動作がスムーズにできる事



相手が放つ矢に対する防御に優れている事



この2点を重要視して造られたのが大鎧です。因みに…大鎧は、「**式正の鎧**」とも呼ばれます。大鎧こそが最も格の高い正式な鎧であるということを示しています。歩兵戦重視など、戦法の変化に伴って室町時代の終わり頃には大鎧は戦場から姿を消しました。しかし、江戸時代に入り戦のない世の中になると、甲冑は装飾品の側面が重視され美術品としての価値が評価され武家の象徴として「復古調」の大鎧が制作されるようになりました。

下級武士が使用するための軽武装用として「**胴丸**」、「**腹当**」、「**腹巻**」が作られました。

胴丸

平安時代中期、一騎打ちの騎射戦から「集団戦」へと変わります。下級武士(歩兵)の軽武装用の甲冑として誕生しました。右脇で引き合わせる構造が特徴であり、胴丸式挂甲が発展したと考えられています。機敏に動くために、両肩にかかる重さを軽減し、腰で重量を支える工夫がされました。草摺は8間で4段。胴を引き合わせる際にできる隙間を覆う脇板が付き、**肩**(肩に掛ける部分)には、胸上部を防護する杏葉なども付いていました。ですが下級武士は資金が無く、当時は兜や、臙当、草鞋などは一般的に用いられませんでした。



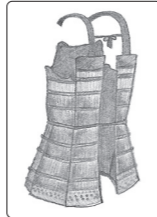
腹当

腹当は鎌倉時代後期から室町時代にかけて徒歩戦で着用しました。胴の前面と左右を覆うのみで、草摺は短い寸法で3間でした。防御は体の左右と前面のみで、背中への守りが薄いのが腹当の特徴となります。



腹巻

腹巻は、南北朝時代に誕生しました。胴の左右前後を防御し、草摺は通常7間です。背中で引き合わせる点は腹当と同じで、大腿部まで覆う長い草摺が付く点は胴丸と同じ。このことから腹巻は、胴丸と腹当の良い部分を合わせた防具であるとも言えます。背中に空いた隙間はそのままですが、のちに腹巻には隙間に挟む防護用の「**背板**」を取り付けるようになりました。敵に背中を向けることを想定して作られていることから「**臙当板**」とも言われていました。武士が敵に背を向けてはならないとされ当時あまり用いることはなかったと言います。



大鎧と比べて着用が簡単で動きやすいと、上級武士達も着用するようになります。

戦の歴史は、甲冑の歴史でもありますね。命を守る為に研究を重ね、より頑丈で動きやすく改良されてきたのだと思います。そこには沢山の犠牲になった命があったと思うと複雑な気持ちになりました。ですが、復古調の大鎧だけは平和を示した甲冑な気がしました。次号では当世具足について語らせて頂きます。



中国三大謀将、戦国三大梟雄

宇喜多直家

うきた なおいえ 1529-1581年



今号は、  
中国地方三大謀将の一人  
この方にタイムスリップ!

放浪の幼少期

備前国守護代、浦上氏の家臣である宇喜多興家の子として備前国(現岡山県東南部)で生まれます。しかし浦上家中の争いに巻き込まれ敗れた祖父が殺され、父と共に**放浪**することになります。更に放浪途中に父・興家も亡くなってしまいます。

浦上家家臣として

元服した直家は浦上宗景の家臣になります。初陣で活躍した直家は城主を任せられます。しかし、任せられた城は、最前線で若く経験も浅い直家に守り切れるか不安視されていましたが、見事に**守り切り**ます。更に浦上氏の勢力拡大に**貢献**していきます。

数々の謀殺

梟雄と呼ばれる直家が関わったとされる暗殺は沢山あります。



島村盛貫 祖父の仇

浦上家中において、勢力、権力共に圧倒的差のあった盛貫を殺す為、謀反の噂を流し、粛清させることに成功します。

中山勝政 直家の舅

浦上家中において力をつけてきた直家を買っていた勝政は娘を嫁がせ、姻戚関係になります。しかし直家は自身の勢力拡大の邪魔になった勝政にも謀反の噂を流し、粛清させることに成功。更に中山氏の所領を得ることまで成功します。

金光宗高 三村家親の元家臣

三村家親を殺害し、三村家の所領を得た直家は、かねてから目を付けていた岡山の地に城下町を築く為、岡山を所領としていた宗高に毛利氏との内通の言いがかりをつけ、切腹に追い込みます。直家が岡山を居城に変えた後、岡山は大いに発展していきます。

三村家親 備中国(岡山県西部)の大名

備中国を巡って、三村氏と対立中、城をいくつも落とされ、攻略に苦戦していました。しかし、軍議中の三村軍に短筒を持たせた家来を忍び込ませ、暗殺を成功させます。駆逐と鉄砲戦産地を手に入れました。これは、日本国内で銃による最初の要人暗殺になりました。

松田元賢 娘婿、伊賀久隆 妹婿、宇垣与右衛門 松田家家臣

備前国内で争っていた松田氏に娘を嫁がせ、更に妹を松田家家臣に嫁がせ和平に持ち込みます。狩りをしようと誘い出し、「鹿と間違えました」と無茶苦茶な言い分を松田家家臣・宇垣与右衛門を射殺。怒った松田氏に圧力を掛け、射殺した宇喜多家家臣の罪を不問とさせます。家臣を殺されたにも関わらず、何もしない主君に怒った松田家家臣団。これが原因で内紛が起きます。その内紛を利用し、妹婿の伊賀久隆に主君の松田元賢を殺害させ、更に伊賀久隆を毒殺した直家。

浦上久松丸 主君

浦上家中において勢力を拡大していった直家は独立を決意します。主君であった浦上宗景に対して、宗景の兄の孫である久松丸を正当な当主だと担ぎ、下克上を起こします。下克上を起こし成功します。さらに不要になった久松丸を毒殺します。



戦国時代とはいえ、舅、娘婿、妹婿にまで手にかけて直家。沢山の謀殺を繰り返した結果、一代で放浪の身から、備前国(岡山県東南部)と備中国(岡山県西部)・美作国(岡山県東北部)の一部を治める戦国大名となり、宇喜多家の再興に成功します。そんな直家ですが、家臣を粛清したことはありません。家臣には優しくなかったのか、それともそれも計算の上でのことなのか・・・ちなみに実の弟である宇喜多忠家は、「兄と会う時は常に着物の下に鎖帷子を着用していた」というエピソードが残っています。身内には、家臣に優しくなかったのは、計算だったと思われるのでしょね。